



文 部 科 学 大 臣 杯

第 5 4 回 全 日 本 ボ ウ リ ン グ 選 手 権 大 会

開 催 要 項

- 主 催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁 公益財団法人 日本体育協会 公益財団法人 日本オリンピック委員会
愛知県教育委員会 公益財団法人 愛知県体育協会 稲沢市 稲沢市教育委員会
稲沢市体育協会 稲沢市ボウリング協会 全国ボウリング公認競技場協議会
- 主 管 愛知県ボウリング連盟
- 開 催 日 平成28年3月18日（金）～21日（月・祝）
- 競 技 会 場 稲沢グランドボウル JBC公競No.122-64号 BW116レーン
稲沢市井之口大坪町80-1 TEL0587(21)2131
- 競 技 種 目 ① 2人チーム戦（男・女別） 6ゲーム（チーム合計12ゲーム）
② 3人チーム戦（男・女別） 6ゲーム（チーム合計18ゲーム）
③ 6人チーム戦（男・女別） 6ゲーム（チーム合計36ゲーム）
④ マスターズ戦（男・女別） 12ゲーム
- 競 技 方 式 デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。
- 競 技 方 法 ① 男女とも2人チーム戦・3人チーム戦・6人チーム戦の3種目は、前半（3G）・後半（3G）をシフトごとにレーン移動して行い、その合計得点により各種目（男・女別）の順位を決定する。
② マスターズ戦は、男女ともチーム戦3種目（18G）における個人得点の上位から男子26名・女子20名を選出し、1ゲーム毎にレーン移動して、11ゲームの競技を行い、11ゲーム時点の得点で順位順にレーンを配当し、さらに1ゲームの競技を行い、12ゲームの総得点によって順位を決定し、男女の優勝者を平成27年度の全日本選手権者とする。
- 競 技 規 程 JBC選手権競技会規程並びにJBCボウリング競技規則を適用する。
- 同 位 の 裁 定 各種目において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
ただし、マスターズ戦12ゲーム後に1位と2位が同点の場合、9・10フレームにより順位を決定する。

- 参加資格 平成27年度のJBC登録会員（個人正会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）で各加盟団体より選出された者に限る。（個人普通会員は個人正会員に登録変更すれば参加できる）
- 参加割当 参加割当は、各加盟団体とも男子12名、女子12名を最大とする。
6名未満の人数での申し込みも認めるが、メイクチームの編成は主管連盟が行う。
補欠選手登録は、6名につき1名とする。
- 褒賞 ① 団体総合（男・女別） 優勝～第3位
※優勝団体には、文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する。
- ② 各種目（男・女別） 優勝～第6位
ただし、各種目においてメイクチームは入賞対象外とする。
- ③ 個人総合（男・女別 3種目の個人総得点） 第1位～第3位
- ④ マスターズ戦（男・女別） 優勝～第6位
※男・女優勝者には、選手権者認定証を授与する。
- ⑤ 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞（男・女別）
- ⑥ マスターズ戦出場賞 マスターズ戦出場者全員
- ⑦ 加盟団体表彰 各種目優勝者（チーム）が所属する加盟団体
- ⑧ 参加賞 参加者全員に贈る。
※団体総合の順位を決定するポイントは、2チーム参加している団体も全選手を対象とし、各種目とも次のとおりとする。メイクチームはポイント対象外とする。
優勝＝10点 準優勝＝7点 第3位＝5点 第4位＝3点 第5位＝2点 第6位＝1点
※同ポイントの場合は、該当連盟入賞者の合計得点の多い方を上位とする。
※個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞は、チーム戦3種目を対象とする。
- 施設使用料 1チーム（6名）90,000円
1名 15,000円 学生連合・ジュニアは13,500円
マスターズ戦 1名 7,800円
- 申込方法 団体ごとに所定の参加申込用紙に必要事項を記入し下記大会事務局に申し込むこと。
参加料については期日までに下記の振込先にお振込み下さい。
- 申込締切 平成28年2月18日（木） 必着
- 大会日程 別紙の通り。ただし、参加選手数によって変更することがある。
- 大会事務局 愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-21
TEL052(433)9910 FAX052(433)9911
eメール taikai@aichi-jbc.com
[振込銀行] 三菱東京UFJ銀行 鳴海支店 普通口座212272
愛知県ボウリング連盟 会長 丹羽秀樹

☆注意事項☆

- ① 公認ゲーム消化証明は、各団体の責任において確認すること。
- ② 大会使用ボールの登録は、2個目から1個500円の登録料を納入するものとする。5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。
- ③ 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。
- ④ 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前までに検査を受けること。この場合の検査料は1個500円(硬度検査のみ200円)とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- ⑤ 大会に使用するボールの持込みは4個以内に自粛のこと。
- ⑥ 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- ⑦ 開会式には、各団体とも連盟旗を持参し監督が参加すること。
第1シフトの選手はボーラズベンチおよびコンコースにて参加すること。
- ⑧ 閉会式には、表彰該当選手および監督全員が必ず出席すること。
- ⑨ ボウリングボール等を事前に宅配便等で会場センターへ送る場合、どこの運送会社を利用しても構わないが、荷物は3月16日(水)以降の到着になるように発送し、発送伝票には必ず所属団体名を記入すること。
なお、センターからの荷物の発送についてはゆうパック(日本郵政)の手配となる。

☆ドーピング検査について☆

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ② 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ③ 20歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出している者のみエントリーできる。
- ④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- ⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。